

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 8 日

事業名称		行政改革推進業務費 [行政評価事務]																																																							
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画費	事業番号	5																																																	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)																																																								
担当部署・課長名	行政管理		課		行政管理		係	課長名	木村 西																																																
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	行 - 2																																																	
【施策名】 効率的でスリムな行政運営の実現							総合計画書 (ページ)	122																																																	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)																																																				
	①施策 ②施策内の事務事業 →				①施策数 ②事務事業数																																																				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)																																																				
	課題の把握、今後の方向性(課題解消の方策)が立案され、効果的、効率的に執行されている。 →				行政評価が課題の把握、今後の方向性の判断に活用されている数 (活用されていると思う職員数/研修参加者数)																																																				
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)																																																				
	①研修の実施(施策評価・事務事業評価) ②施策評価(優先度評価) ③事務事業評価 ④市民事業評価 →				①研修参加者数(施策評価・事務事業評価) ②施策評価数 ③事務事業評価数 ④市民事業評価事業数																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">過去2年間の実績</th> <th>当該年度</th> <th colspan="2">成果目標</th> </tr> <tr> <th>平成29年度実績</th> <th>平成30年度実績</th> <th>平成31年度実績</th> <th>令和2年度目標</th> <th>令和3年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象指標</td> <td>①の数値</td> <td>事業</td> <td>①32 ②417</td> <td>①32 ②454</td> <td>①32 ②457</td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td>②の数値</td> <td>%</td> <td>24.2</td> <td>28.8</td> <td>20.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目 標</td> <td>②の目標値</td> <td>%</td> <td>各ポイント1%増</td> <td>各ポイント1%増</td> <td>各ポイント1%増</td> <td>各ポイント1%増</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> 目標値設定の考え方 施策評価・事務事業評価が成果課題の認識、今後の方向性の立案に全庁的に活用されている状態を目指す。 </td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>③の数値</td> <td>① 人 ②事業 ③事業 ④事業</td> <td>①88 ②32 ③417 ④ 6</td> <td>①90 ②32 ③454 ④ 6</td> <td>①73 ②32 ③457 ④ 6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	対象指標	①の数値	事業	①32 ②417	①32 ②454	①32 ②457		成果指標	②の数値	%	24.2	28.8	20.5		目 標	②の目標値	%	各ポイント1%増	各ポイント1%増	各ポイント1%増	各ポイント1%増	目標値設定の考え方 施策評価・事務事業評価が成果課題の認識、今後の方向性の立案に全庁的に活用されている状態を目指す。						活動指標	③の数値	① 人 ②事業 ③事業 ④事業	①88 ②32 ③417 ④ 6	①90 ②32 ③454 ④ 6	①73 ②32 ③457 ④ 6								
		単位	過去2年間の実績				当該年度	成果目標																																																	
平成29年度実績			平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標																																																			
対象指標	①の数値	事業	①32 ②417	①32 ②454	①32 ②457																																																				
成果指標	②の数値	%	24.2	28.8	20.5																																																				
目 標	②の目標値	%	各ポイント1%増	各ポイント1%増	各ポイント1%増	各ポイント1%増																																																			
	目標値設定の考え方 施策評価・事務事業評価が成果課題の認識、今後の方向性の立案に全庁的に活用されている状態を目指す。																																																								
活動指標	③の数値	① 人 ②事業 ③事業 ④事業	①88 ②32 ③417 ④ 6	①90 ②32 ③454 ④ 6	①73 ②32 ③457 ④ 6																																																				
3 経費	事業費(実績)		円	1,081,681	980,514	918,653	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)																																																		
	財源	一般財源	円	1,081,681	980,514	918,653																																																			
		特定財源	円	0	0	0																																																			
		(うち受益者負担)	円	0	0	0																																																			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	0.7	0.6																																																			
		所要人数(再任用)	人																																																						
		職員人件費(再任用以外)	円	8,253,000	5,770,800	4,986,000																																																			
		職員人件費(再任用)	円																																																						
事業費+人件費		円	9,334,681	6,751,314	5,904,653																																																				
4 環境変化等	(1) 開始年度 平成18 年度																																																								
	(2) 環境の変化 ・平成18年度開始。職員の意識改革、成果重視の行政経営を目的とした行政評価制度を導入した。 ・評価事業数を徐々に増やし、平成24年度から全事務事業を対象としている。 ・2年間の試行を経て、平成26年度から外部評価を実施、また平成26年度から施策評価を導入した。																																																								

事業名称	行政改革推進業務費 [行政評価事務]			
担当部署・課長名	行政管理	課	行政管理	係 課長名 木村 西

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 市民事業評価会議（外部評価）において「振返りシートが適切に記載されていない」「市民の目線とは異なる取組をしている事業があった」という意見があった。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ	取組手法：⑥情報提供・情報交換（市報・HP・ツイッター）⑧（市民事業評価会議）		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 市民事業評価会議（外部評価）の実施方法について検討する。			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振返りシート7課題（3）を転記） ・記述水準や評価結果の活用方法について、引き続き整理していく。 ・市民事業評価会議の評価対象事業の選定、会議運営の見直し			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 ・市に裁量の無い事業や事務管理事業などについては、改善の余地や解決課題が少ないことから、評価内容を簡略化し、簡易シートに記載するよう様式を追加。行政評価事務の効率化や負担軽減を図った。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ・記述水準を向上させること ・事務事業評価（振返りシート）の事業名称と予算書の事業名との一致			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ・成果を向上しつつ制度を維持する。 ・施策の課題を解決するための手段である事務事業の成果指標を的確にとらえる。 ・行政評価結果を課題の把握や今後の方向性の判断に活用できるようにする。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	・研修の実施 ・事務事業評価（振返りシート）の事業名称と予算書の事業名との一致			